

平成30年
100周年
岩木川改修事業

To 100th Anniversary



岩木川改修100周年 記念碑除幕式
主催:岩木川改修100周年記念事業実行委員会

平成30年 8月4日 | 岩木川改修100周年 記念碑除幕式

■岩木川改修記念碑を復元お披露目

8月4日(土)、青森河川国道事務所 五所川原出張所構内において、岩木川改修100周年記念事業実行委員会会長 佐々木五所川原市長はじめ、関係者約80名が出席し、復元した『記念碑』の除幕式を執り行いました。

この『記念碑』は、岩木川改修期成同盟会(明治43年設立)が、改修事業着手を記念し、大正10年9月に起工式において、五所川原市役所構内消防署付近に建立され、移設、損傷等により一時、五所川原市が保管していたものを修復・復元したものです。

岩木川改修100周年という節目に、岩木川の水害の歴史を後世に伝え、岩木川の未来を地域とともに考えるきっかけとして、各種記念事業を実施しており、そのシンボルとなるものです。



岩木川改修記念碑



岩木川改修記念碑 碑文内容

(石碑に刻まれた文章を意訳)

さきの内務大臣にして、正三位勳一等男爵の後藤新平がこの表題を揮毫した。岩木川は津軽の大河であり、美田三万石以上の水灌漑に役立ってきた。その事をやめることに成功してきた。これに当たっては弘前藩時代のように行はず、森林の荒廃は進み、そうしたときに水枯れなども起きていたのである。水害が頻発し地方が次第に苦しくなるに至って明治十三年(十四年の頃、大隈(重信)参謀が十三湖の湖口を視察した。また内務省の技師も、渡ることも行くこともせず調査に致頭し、ついに帝國議會に請願の建白を行う道は開けたのである(ただしこの際の調査ではその設計工費は県の予算では賅うことができない額となり、着工は実現しなかった。この地方の志士たちは一躍奮起して明治四十三年、青森県議会は、岩木川改修工事を国費をもって進めるよう内務大臣あてに請願することを建議した。そのいきつが記された明治四十四年の復建書(建白に対する返答)によれば、当初(明治十三、四年頃)は国費ではなく県費にて工費を補い、町村長もこれを拒むことができなかった。また、帝國議會への請願も、その後毎年提出しなければならず、その都度許可を得なければならぬことが決まっていた。地元の名士や仁者による長期計画としては採択されなかった。その年の有志が相談して、岩木川改修期成同盟会を設立し、必要な喫緊運動を行い、ついに県当局も、担当官や技師を派遣するなどの策がほぼ成立するに至った。同盟会の熱心な請願活動の結果、大正七年に岩木川改修工事は十力年継続の國の直轄事業として認められたが、その年の帝國議會決議によれば、(岩木川改修工事費用七百円)「竣工後十年を竣工とする」。県の支払いは百八十三万五千円」など決議されている。翌年、臨時県議會においても県費負担のことが決定され、ついにこの地方に、ついに長年の望みが達せられた。すなわち工事開始から十年後には、永らく続いた財政負担から解放され、この地方の人々は生きることに深しき喜びを覚えるに至ったのである。実に、ありがたくめでたい御代の余沢が、骨髄にまで行き渡ったと云うべきであろう。行がってこの地方の人々は、振り返ってみてこの大事業が誰の方によってなされたことか、忘れてはならないのである。むろんこれは、上は中央内閣および地方の重要な地位の人々をはじめ、下は地方の志士や仁者に至るまで、多くの人々の尽力によるものである。彼らが互いに助け合い方を合わねながらも熱心、苦慮したうえで折衝を重ね、奔走した結果、ここに至ったのである。ここに期成同盟会発足の経緯を記して、今後の戒めとして、またこの事業の意味をもって後世に伝えることを期待して、謹んでそのあらましをここに刻んだ次第である。

大正十年九月十六日 陸奥五所川原 川村善八撰
弘 前 高山松堂書



挨拶
五所川原市 佐々木市長



挨拶
東北地方整備局 高田局長



来賓挨拶
八戸工業大学大学院 佐々木教授
(岩木川河川整備委員会委員長)



事業経過報告
青森河川国道事務所
巖倉事務所長



～オープニングアトラクション～
五所川原立佞武多囃子
(ねぶた製作団体 漣の皆様)



岩木川の治水に関する石碑全8カ所をマップ付きで紹介したパネルを展示

ホームページを開設中です！

当ホームページでは100周年記念事業に関連する「各種イベント情報 (パネル展)」や「岩木川の改修の歴史」などの情報が、閲覧できます。

(ホームページURL)

<http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/river/topics/iwaki100th/index.html>

平成30年
100周年
岩木川改修事業

ホームページバナー



QRコード